

バンパー用ポリエステル樹脂パテ RACUDAバンパーパテ



特長

1. 研磨性、ヘラ付け性が良好です。
2. プライマーなしで、PPバンパーにパテ付け可能です。
(但し、近年再生バンパー等付着性の低いものもありますので、別途アンダープライマー塗布後にご使用する事をお勧めします。)
3. 低収縮性に優れ、パテ付け後のひずみが発生しにくい設計です。
4. 柔軟性に優れています。

使用方法



調合方法: 主剤:パステルエローペースト=100:2~3% (重量比)※

※中間パテペーストNEW(ブラウン/エロー)も2~3%混合量で使用可能です。



乾燥時間

	10℃	20℃	30℃	強制乾燥 60℃
ペースト量	3%	2%	2%	2%
可使時間	8~12分	5~8分	2~4分	—
研磨可能時間	40分以上	30分以上	20分以上	10分以上

旧塗膜・プラスチック用密着プライマー アンダープライマー

特長

1. 各種金属・プラスチック素材、PPバンパー、新車焼付け塗膜、2液ウレタン塗膜に塗装することで、上塗り塗料の密着力を向上させます。
2. ノンサンディングで上塗り塗装が可能のため、作業効率が向上します。
3. 1液既調合タイプなので、そのまま使用することが可能です。
4. グリーンに着色しているため、塗装膜をより視覚的に判断できます。
5. 危険物分類は、第四類第二石油類です。



使用方法



脱脂

(素地に適した脱脂剤で被塗面の油分・水分・汚れを除去)



塗装回数 1~2回

(ストレーナーでろ過後、全体が濡れて塗膜ができる程度に塗装)



セッティング (塗布面のべたつきがなくなるまでエアブロー)

	10℃	20℃	30℃
	15~20分	10~15分	5~10分



上塗り塗装

上塗り可能時間:7日以内

(ただし、ゴミ・ホコリ付着を考慮し、24時間以内の上塗り塗装を推奨いたします。)

■ 適合上塗り塗料

アクロベース、アクアスDRY、ミラノ2KM、ミラノ2Kコモ、AU21、ハイアート

〈使用上の注意〉

- ① 使用する前に良く攪拌し、均一にしてからご使用ください。
- ② アンダープライマーの厚塗りは避けてください。
厚塗りすると密着不良やチヂミなどのトラブルにつながります。
- ③ 低温時(5℃以下)は、密着力を発揮するまでに時間が掛かります。5℃以下では30分以上のセッティングを取るか、10℃以上に加熱乾燥させてください。
- ④ 旧塗膜の状況によっては、被塗物のサンディングが必要となる場合もあります。

■ 各種素材との密着性

素材 (無研磨)	推奨下地
新車焼付け塗膜	○
2液ウレタン塗膜	○
電着パーツ	×※
防錆鋼板	×※
冷間圧延鋼板 (SPCC)	○
アルミニウム	○
アルマイト処理板	○
ABS	○
FRP	×※
ポリカーボネート	○
硬質ウレタン	○
PPバンパー	○

※電着パーツ、防錆鋼板及びFRP素材に対する密着力はありますが長期耐久性において時間経過とともにトラブルを起こす可能性がありますので、2液ウレタンサーフェーサーを推奨します。

驚くほどの研磨性と密着力!! “2つの力で補修効率さらにUP”

再生バンパー補修工程



補修部 下地処理

・補修部 → アブラネットP120～P180
・フェザーエッジ → アブラネットP240～P320



脱脂

ワックスオフ・ワックスオフライト・ワックスオフメリット
研ぎ粉塵、油分、汗などしっかり除去します。



アンダープライマー 塗装

アンダープライマー  20°C×10～15分



パテ付け

RACUDAバンパーパテ  60°C×10分以上
《注意》アンダープライマーは、1液型であり耐溶剤性はありませので、しっかりと乾かした後、RACUDAバンパーパテを付けてください。



研磨・成形

アブラネットP180～P240




脱脂

ワックスオフ・ワックスオフライト・ワックスオフメリット
研ぎ粉塵、油分、汗などしっかり除去します。



サーフェーサー 塗装

ウルトラサフC } バンパー仕様
ウルトラサフ }
ピュアエースプラサフ(水性)  60°C×40分以上
2液バンパープラサフ(溶剤)
※詳しくは、各種製品カタログをご参照ください。



研磨・成形

アブラネットP320(サンディングブロック)
仕上げ → アブラネットP400～P600



ベースコート 塗装

各種ベースコート仕様書に準ずる



クリアー コート

主剤に対して軟化剤を10%添加してください。
※詳しくは、各種クリアーカタログをご参照ください。

使用にあたってのご注意

A. 作業上に注意点

1. 塗料・ミストを皮膚や粘膜に付着させない

- 作業着・手袋・マスクを装着し、皮膚や粘膜を保護してください。
- 保護メガネを必ずかけてください。眼に飛沫が入った時は、すぐに大量の水で洗い流し、直ちに専門医の手当を受けてください。

2. 皮膚に触れた場合の炎症

塗料・ミストが直接皮膚に触れると、赤くはれるなどの炎症を起こす場合があります。

3. 一度中毒症状になると再発しやすい

一度中毒・炎症を起こしたりすると、過敏になり再発しやすくなる傾向があるので注意してください。気管支炎になりやすいなど呼吸器系が敏感な人や、既応症のある人、皮膚カプシのしやすい人、アレルギー質の人は、作業には従事しないでください。

B. 取扱いに際して

硬化剤: 燃えやすいペースト状固体であり、また、有機溶剤中毒の恐れがありますので、使用時以外では必ずふたをしてください。